

# 施策評価(平成30年度)

## 1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	32	上水道
基本方針		
安全でおいしい水を安定供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。		

## 2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
<a href="#">水道管路の耐震化</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">はむらの水PR事業の充実</a>	計画を見直し完了	A	A	A	現状のまま継続
<a href="#">危機管理体制の強化</a>	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

## 3 施策評価結果

<p>施策32「上水道」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「水道管の耐震化」などの3事業は、「計画どおり完了」としているが、「はむらの水PR事業の充実」では、水の保全に関する宣言の制定に至らず、庁内プロジェクト会議において、制定に向けた意見の集約などに努めていくと整理したことから、「計画を見直し完了」としている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。「はむらの水PR事業」については、水の保全に関する宣言の制定には至らなかったが、きき水体験、水はむらオリジナルラベル作成、水道応援団の立ち上げなどの事業が計画どおり実施できたと捉えている。</p> <p>本施策の基本方針は、「安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努める」ことであり、「水道管路の耐震化」においては、「水道管路耐震化更新計画」に基づき耐震化を進め、耐震性能を満たす水道管路の割合は、22.3%となったほか、「羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備」及び、「危機管理体制の強化」においても、基本方針に沿った事業の進捗が図られている。</p> <p>また、「はむらの水PR事業の充実」では、水の保全に関する宣言の制定について、庁内プロジェクト会議において、制定に向けた意見の集約などに努めていくと計画を見直したほか、羽村の水に関するPRを行い、広く周知に努めたことで、一定の効果を生み出していることから、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 水道管路の耐震化		不明	年 継続	自治事務(市独自)		
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	管理No.	154

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	水道管路の耐震化を推進するため、「水道管路耐震化更新計画」に基づき、避難所などに指定されている公共施設周辺を優先しながら、計画的に管路の更新に取り組みます。
根拠法令	水道法
条例	給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	配水管の耐震化 L=1,270m 新設 130m 管種替 1,140m 管路耐震適合率 20.3% 管路耐震化率 1.0% (率は、羽村駅西口土地区画 整理事業地区内を含む)	同左 L=1,785m 同左 75m 同左 1,710m 同左 20.2% 同左 1.9% (同左)	同左 L=2,135m 同左 100m 同左 2,035m 同左 20.2% 同左 3.1% (同左)	同左 L=1,702m 同左 110m 同左 1,592m 同左 20.2% 同左 4.0% (同左)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H	人	H	人	H
主事・主任職	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H	2人	977 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	127,651	183,317	223,606	222,244
人件費(係長職)				
人件費(主任・主事職)	6,505	6,505	6,505	6,505
総事業費(合計)	134,156	189,822	230,111	228,749
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債	90,000	120,000	150,000	180,000
一般財源(人件費含む)	44,156	69,822	80,111	48,749
財源内訳(合計)	134,156	189,822	230,111	228,749

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

当事業は、平成28年度に策定した「水道管路耐震化更新計画」に基づき、既存塩化ビニール管を耐震性に優れているダクタイル鋳鉄管に管種替えを行い、計画的に管路の耐震化を図るものである。  
平成30年度は、配水管管種替工事6件、延長1,718m 新設工事2件、延長195mを実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	183,317	16,220	199,537	189,799	95.1%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	人	H
主事・主任職	2人	977 H	2人	977 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○配水管管種替 延長1,710m ○配水管新設 延長 75m	⇒ ○配水管管種替 延長 1,718m ○配水管新設 延長 195m

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 要 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手 率 法 性 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成 効 果 性 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

平成28年度に策定した「水道管路耐震化更新計画」に基づき耐震化を進め、耐震性のある配水管整備率は、22.3%となり、水道水の安定供給に向け施設の能力向上を図ることができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

配水管の耐震化については、大規模な震災に対応するための重要な課題であり、着実に進める必要がある。引き続き、「水道管路耐震化更新計画」に基づき、耐震性の低い硬質塩化ビニール管などを計画的に管種替えし、水道管路の耐震化を計画的に進めて行く。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅西口土地区画整理事業地区の配水管網の整備		平成 27 年	期間設定3年	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課		区画整理推進課、区画整理総務課				
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	管理No.	155

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	土地区画整理事業の進捗にあわせ、配水管網の整備を行います。
根拠法令	水道法
条例	給水条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画			
		平成30年度		平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	区画道路第6号 配水管布設替 31m (羽村大橋周辺)  区画道路第7号 配水管布設替 54.7m (しらうめ保育園周辺)  区画道路第8号 配水管布設替 58.8m (川崎一丁目エリア)	配水管布設 116m 配水管布設替 215m	配水管布設替 215m		

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	261 H	1人	261 H	1人	261 H	1人	261 H
主事・主任職	1人	261 H	1人	261 H	1人	261 H	1人	261 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	14,484	25,270	17,416	-
人件費(係長職)	1,298	1,298	1,298	1,298
人件費(主任・主事職)	869	869	869	869
総事業費(合計)	16,651	27,437	19,583	2,167
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源	14,484	17,000	17,416	
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	2,167	10,437	2,167	2,167
財源内訳(合計)	16,651	27,437	19,583	2,167

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 492 円  
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物) の 出来高 の コストは 円

※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

当事業は、羽村駅西口土地区画整理事業の進捗にあわせ、配水管の布設及び布設替を実施した。平成30年度は、3件の工事を実施、布設工事1件、延長118m、布設替工事2件、延長156mを実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	25,270		25,270	12,194	48.3%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	261 H	1人	123 H
主事・主任職	1人	261 H	2人	261 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○配水管布設工事 延長 116m ○配水管の移設工事 延長 215m	○配水管布設工事 延長 118m ○配水管の移設工事 延長 156m

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手 率 法 性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成 効 果 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

羽村駅西口土地区画整理事業にあわせて配水管網の整備を実施した。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村駅西口土地区画整理事業の進捗状況にあわせて配水管網の整備を実施して行く。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道業務課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 はむらの水PR事業の充実		平成 28 年	継続	自治事務(市独自)	直営	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	環境保全課、産業振興課					
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	管理No.	156

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	独自の水道事業を展開する羽村市を前面に出し、「安くておいしい良質な水」を利用する価値を広く周知することで、市民の羽村市への愛着を育むとともに、市へ進出、移住を検討する企業・住民をターゲットとしたシティプロモーションに取り組みます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に向けて全戸配布実施	同左	同左	同左
	市内不動産事業者リーフレット「水だより」の窓口配布を依頼	同左	同左	同左
	イベント等において水の飲み比べ「きき水」の体験実施	水の飲み比べ「きき水」体験事業は各イベントにおいて実施していく	同左	同左
	水の保全に関する宣言の制定準備	水の保全に関する宣言の制定		
		「水はむら」オリジナルラベルの製造	同左	同左
		水道応援団(仮称)の立ち上げ	水道応援団(仮称)の活動支援	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	30 H	1 人	30 H	1 人	30 H	1 人	30 H
主事・主任職	1 人	30 H	1 人	40 H	1 人	40 H	1 人	40 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	108	756	756	756
人件費(係長職)	150	150	150	150
人件費(主任・主事職)	100	134	134	134
総事業費(合計)	358	1,040	1,040	1,040
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額		756	756	756
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	358	284	284	284
財源内訳(合計)	358	1,040	1,040	1,040

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、 円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、 円  
 ウ 成果(物)  の出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do(実行)**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	水資源の保全と活用は、羽村市固有の特色ある重要施策であり、羽村市の魅力として全国に向けPRしていくことが有効である。 関係各部により連携を図り、宣言などの制定に向け、検討を進め、公表に向けた取組みを進めること。 また、「水はむら」の販売促進については、営業を行う視点をもって努めること。

②活動実績

○リーフレット「水だより」を作成し、水道使用者に全戸配布するとともに市内不動産事業者に窓口配布を依頼した。  
○市内イベントの「はむら花と水のまつり」「水道週間」「環境フェスティバル」「はむら夏まつり」、市外イベントの「西多摩フェア(イオンモール日の出)」、「ツーリズムEXPOジャパン2018(東京ビッグサイト)」に参加し、「きき水」や「水はむら」の販売を行い、はむらの水のPRを行った。  
○「水はむら」オリジナルラベルの製造希望者(2団体)に4,032本(168箱)のオリジナルラベルを製造した。  
○水道応援団を立ち上げ、10月及び3月に水道応援団の参加者を対象とした施設見学会及び意見交換会を実施した。  
○水の保全に関する宣言の制定について、庁内のプロジェクト会議において、意見を集約し検討を進めていくこととした。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	756		756	523	69.2%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	30H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の制定 ○「水はむら」オリジナルラベルの製造 ○水道応援団(仮称)の立ち上げ	○「水だより」の作成、配布 ○「きき水」体験の実施 ○水の保全に関する宣言の検討 ○「水はむら」オリジナルラベルの製造 ○水道応援団の立ち上げ

**Check(評価)**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ( )	A
有(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

健全な水道事業経営を行うために、安くておいしい良質な「はむらの水」を広く周知し、水道水の需要を高めていくことが必要であり、平成30年度は、体験型PR事業である「きき水」を市内外で実施し、1,900人を超える方に「はむらの水」を体感いただくことができた。  
新規の取組みとして「水はむら」オリジナルラベルの製造(計4,032本)、水道応援団の立ち上げ及び意見交換会などの活動支援を行うとともに、ペットボトル水「水はむら」の販売を、JR青梅線小作駅売店で新規に開始し、羽村市のおいしい水を広く周知することができた。

**Action(改善)**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

○リーフレット「水だより」の内容を更新して継続する。  
○水道応援団の継続的な活動の支援を行う。  
○「水はむら」のオリジナルラベルの製造や販売先拡大等の充実を図る。  
○水の保全に関する宣言の制定については、庁内プロジェクト会議において、意見を集約し進めていくこととする。

1.基本項目		作成部署	上下水道部		上下水道設備課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 危機管理体制の強化		不明	年	自治事務(市独自)	直営	
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	32	上水道	管理No.	157

2.事業の概要

施策の基本方針	安全でおいしい水を安全供給できるよう、水道施設の適切な維持管理および水質管理に万全を期すとともに、事業の健全経営に努めます。
事業内容	水安全計画の運用および監視カメラの増設などにより、危機管理体制の強化を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	厚生労働省「水安全計画ガイドライン」平成20年度

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	水安全計画の運用 水銀計購入	同左 末端給水栓連続自動水質監視装置設置工事 第1水源、第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事 水道施設監視カメラ設置及び第1水源フェンス改修工事 実施設計業務委託 TOC計購入	同左 魚監視装置取替 ガスクロマトグラフ質量分析計更新	同左 ICP分析装置更新

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	30H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	40H	1人	40H	1人	10H	1人	10H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	4,898	125,372	42,712	15,715
人件費(係長職)	150	50	50	50
人件費(主任・主事職)	134	134	34	34
総事業費(合計)	5,182	125,556	42,796	15,799
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	5,182	125,556	42,796	15,799
財源内訳(合計)	5,182	125,556	42,796	15,799

③コスト計算

ア 市民  人における1人あたりのコストは、  円  
 イ 対象者  人における1人あたりのコストは、  円  
 ウ 成果(物)  の 出来高  のコストは  円  
 ※ 対象者:

**Do【実行】**

**5.実施結果**

計画どおり完了  計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す)  遅延  中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

<p>【末端給水栓連続自動水質監視装置工事】 契約:平成30年9月25日・工期:平成30年9月26日～平成31年3月15日</p> <p>【第1、第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事】 契約:平成30年11月29日・工期:平成30年11月30日～平成31年3月15日</p> <p>【水道施設監視カメラ設置及び第1水源フェンス改修工事実施設計業務委託】 契約:平成30年5月22日・工期:平成30年5月23日～平成30年7月31日</p> <p>【TOC計購入】(水質検査機器) 契約:平成30年5月25日・工期:平成30年5月26日～平成30年10月1日</p>
---

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	125,372		125,372	114,696	91.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10 H	1人	10 H
主事・主任職	1人	40 H	1人	40 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
<p>○末端給水栓連続自動水質監視装置工事</p> <p>○第1、第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事</p> <p>○水道施設監視カメラ設置及び第1水源フェンス改修工事実施設計業務委託</p> <p>○TOC計購入</p>		<p>○末端給水栓連続自動水質監視装置工事</p> <p>○第1、第3水源、第2配水場監視カメラ設置工事</p> <p>○水道施設監視カメラ設置及び第1水源フェンス改修工事実施設計業務委託</p> <p>○TOC計購入</p>

**Check【評価】**

**6.事業の評価** S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<p>妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	A
<p>効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ( )</p>	A
<p>有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</p> <p><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</p>	A

**7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価**

安全でおいしい水を供給するため、水道施設に監視カメラを設置し、施設内の危機管理体制を強化することができた。また、配水区域末端に水質を24時間監視する装置を設置し、水質管理を万全に期すことができた。

**Action【改善】**

**8.今後の方向性**

現状のまま継続  レベルアップ  縮小  実施主体の見直し  休止・廃止  完了

【改善点】

【今後の取組方針】

安全でおいしい水を供給するために、引き続き、水道施設の適切な維持管理及び水質管理を万全な体制のもと進めていく。